

ラテックスアレルギー対策の新展開とゴム製品の安全性評価の現状！

第266回ゴム技術シンポジウム

ゴムおよびゴム製品の性能と衛生問題

主催：一般社団法人日本ゴム協会研究部会 衛生問題研究分科会
協賛：塩化ビニリデン衛生協議会、塩ビ食品衛生協議会、繊維学会、日本グローブ工業会、日本化学会、
(予定) 日本ゴム工業会、日本調理用手袋協会、日本レオロジー学会、ポリオレフィン等衛生協議会、
マテリアルライフ学会 (順不同)

ゴム製品は人体に触れる機会が多く、衛生問題を理解しながら使用することが望まれる。一方で衛生問題を解決し、安心してゴム製品を使用できる環境づくりが企業には求められている。本シンポジウムでは、ゴムおよびゴム製品の性能を考慮しながら最新の技術・研究成果を紹介し、これらに関する衛生問題について議論する。

日時：2020年2月26日(水) 9:50~17:05

場所：東部ビル5階会議室 <http://www.srij.or.jp/newsite/about/map/> (東京都港区元赤坂 1-5-26)

受講料：日本ゴム協会会員 協賛団体会員 24,200円 日本ゴム協会学生会員 5,500円

※受講者が日本ゴム協会の正会員でない場合でも、ご所属が法人としてゴム協会会員(賛助会員)の場合は2名様まで会員扱いの受講料でご受講いただけます。

シニア制度対象会員 12,100円(60歳以上の正会員) 会員外 33,000円

受講料には消費税・テキスト代を含みます。

申込方法：弊会ホームページ <http://www.srij.or.jp/> よりお申込みください。(定員50名)

テキスト：当日、受付にてテキストをお渡しいたします。また、テキストは会期約1週間前から期間限定で弊会ホームページに掲載し、閲覧用PWをお知らせいたします。テキスト配付に相当いたします閲覧用PW通知後のキャンセルはお受けいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

送金方法：銀行振込(三井住友銀行 日比谷支店 普通No.7100847 一般社団法人日本ゴム協会)。振込み手数料は受講者側でご負担ください。一度ご入金された受講料は返金いたしかねますのであらかじめご了承ください。

お問合せ先：一般社団法人日本ゴム協会 第266回ゴム技術シンポジウム係
(〒107-0051 東京都港区元赤坂 1-5-26 東部ビル1階

TEL 03-3401-2957 FAX 03-3401-4143 E-mail: kenkyuubukai@srij.or.jp)

9:50~10:00 開会のあいさつ

衛生問題研究分科会主査 河原 成元

【座長】(一財)化学物質評価研究機構 渡邊 智子

10:00~11:10 ベトナムの天然ゴム、ラテックス

(株)加藤事務所 加藤 進一氏

ベトナムの天然ゴム市場とベトナム最大の天然ゴムメーカーVRG社の天然ゴム、ラテックスを開発する。

11:10~12:20 タンパク質フリー天然ゴムの調製

東京工業高等専門学校 山本 祥正氏

尿素や極性溶媒を用いたタンパク質フリー天然ゴムの調製について紹介する。

【座長】ヘンケルジャパン(株) 林 茂毅

13:20~14:30 製品中化学物質のリスク評価の概要(仮題)

(一財)化学物質評価研究機構 片桐 律子氏

14:30~15:40 人の動きを科学した wellbeing テクノロジーの創出(仮題)

(株)アシックス 原野 健一氏

【座長】元・住友ゴム工業(株) 岩田 幸一

15:50~17:00 二酸化炭素を利用したゴムやプラスチックの発泡

東京農工大学 斎藤 拓氏

二酸化炭素を利用して天然ゴムや結晶性高分子を発泡させ、空孔のサイズ・形状や力学物性の制御について紹介する。

17:00~17:05 閉会のあいさつ

衛生問題研究分科会副主査 岩田 幸一

※プログラムは一部変更になる場合がございます。

☆お申込みはホームページ <http://www.srij.or.jp/> からお願いします。